

問1 17世紀から20世紀までの、世界における企業の発展や産業の歴史について述べた次の4つの出来事を、年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれか。（2021年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. オランダ東インド会社の設立
→ イギリスでの蒸気機関の改良
→ アメリカの大陸横断鉄道の全通
→ 第一次世界大戦後のドイツでの航空機産業の発展 | 2. イギリスでの蒸気機関の改良
→ オランダ東インド会社の設立
→ アメリカの大陸横断鉄道の全通
→ 第一次世界大戦後のドイツでの航空機産業の発展 | 3. オランダ東インド会社の設立
→ アメリカの大陸横断鉄道の全通
→ イギリスでの蒸気機関の改良
→ 第一次世界大戦後のドイツでの航空機産業の発展 | 4. アメリカの大陸横断鉄道の全通
→ オランダ東インド会社の設立
→ 第一次世界大戦後のドイツでの航空機産業の発展
→ イギリスでの蒸気機関の改良 |
|---|---|---|---|

問2 1874年に板垣退助らが提出した「民撰議院設立白書（建白書）」において、当時の明治政府に対して行われた主な主張として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。 | 2. 大日本帝国憲法の草案を作成するために、ヨーロッパ諸国の憲法を調査するための使節団を派遣することを政府に求めた。 | 3. 内閣制度を創設することで、天皇を補佐する行政機関の権限を強化し、近代的な国家体制を整えるよう提案した。 | 4. 国会開設の勅諭が出されたことを受け、10年後の議会開設に向けて自由党や立憲改進黨などの政党を結成することを宣言した |
|---|--|--|--|

問3 19世紀末から20世紀初頭にかけての日本の外交について、時期が古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。（2018年 歴史公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 義和団事件の鎮圧 → 日英同盟の結成 → ポーツマス講和会議 → 韓国併合 | 2. 日英同盟の結成 → 義和団事件の鎮圧 → 韓国併合 → ポーツマス講和会議 | 3. 義和団事件の鎮圧 → 韓国併合 → 日英同盟の結成 → ポーツマス講和会議 | 4. ポーツマス講和会議 → 義和団事件の鎮圧 → 日英同盟の結成 → 韓国併合 |
|--|--|--|--|

問4 明治時代、自由民権運動の高まりとともに、新聞などのメディアが政府批判を盛んに行うようになりました。これに対し、政府が「新聞紙条例」などを制定して、新聞による言論活動を厳しく弾圧した最大の理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 新聞が世論に大きな影響力を持ち、政府の政策に対する国民の反対運動が全国的に広がるのを防ぐため | 2. 新聞社同士の過激な報道合戦を沈静化させ、国民に正確な海外情勢のみを伝える環境を整えるため | 3. 欧米諸国との不平等条約を改正するために、日本の言論状況を欧米の法制度と一致させる必要があったため | 4. 新聞の購読料を全国一律に固定し、都市部と農村部での情報格差を解消して教育水準を向上させるため |
|---|---|---|---|

問5 日清戦争の講和条約である下関条約において、日本は朝鮮の独立を認めさせたほか、清から複数の領土を譲り受けました。しかし、その直後にロシア・ドイツ・フランスの3国から「東洋の平和に害がある」との名目で、日本に対して返還を要求された地域はどこですか。（2017年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------|-------|--------------|----------------|
| 1. 遼東（リャオトン）半島 | 2. 台湾 | 3. 澎湖（ほうこ）諸島 | 4. 山東（シャントン）半島 |
|----------------|-------|--------------|----------------|

問6 明治政府は、日本の近代化を進める「殖産興業」の政策の一環として、1872年に群馬県へ官営模範工場を設置しました。輸出の主力製品であった生糸の品質向上と、西洋の機械技術の普及を目的としたこの工場の名称を答えなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 富岡製糸場 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 長崎造船所 | 4. 大阪砲兵工廠 |
|----------|----------|----------|-----------|

問7 19世紀後半のヨーロッパでは、産業革命によって経済が大きく発展した一方で、資本家と労働者間の深刻な貧富の格差が社会問題となりました。このような資本主義の構造を批判し、土地や工場などの生産手段を社会全体で共有することで、搾取のない平等な社会を実現しようと提唱したドイツの思想家は誰ですか。（2023年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|------------|------------|--------|
| 1. マルクス | 2. アダム・スミス | 3. モンテスキュー | 4. ルソー |
|---------|------------|------------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 オランダ東インド会社の設立 → イギリスでの蒸気機関の改良 → アメリカの大陸横断鉄道の全通 → 第一次世界大戦後のドイツでの航空機産業の発展	企業の歴史は、まず1602年のオランダ東インド会社設立によるアジア進出に始まります。その後、18世紀後半にイギリスで産業革命（蒸気機関の改良）が起こり、19世紀半ばの南北戦争後の1869年にアメリカで大陸横断鉄道が完成しました。20世紀に入り、第一次世界大戦（1914～1918年）を経て、ベルサイユ条約後のドイツなどで航空機産業といった新たな技術分野が興隆しました。
問2	答え 1 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。	明治初期の政府は、特定の藩の出身者が政治の実権を握る「藩閥政治」を行っていました。これに対し、板垣退助らは民権議院設立白書（建白書）を提出し、広く国民の意見を反映させる議会の必要性を訴えました。これが自由民権運動の始まりとなりました。
問3	答え 1 義和団事件の鎮圧 → 日英同盟の結成 → ポーツマス講和会議 → 韓国併合	1900年に清で起きた義和団事件を鎮圧した後、ロシアの満州駐留に対抗するため1902年に日英同盟が結ばれました。その後、1904年に始まった日露戦争の講和会議が1905年に行われ、その5年後の1910年に韓国併合へと至りました。この10年間の流れは、日本が東アジアでの地位を確立していく重要な過程です。
問4	答え 1 新聞が世論に大きな影響力を持ち、政府の政策に対する国民の反対運動が全国的に広がるのを防ぐため	明治政府は、新聞が政治的な批判を拡散し、世論を動かす強力な手段であることを認識していました。自由民権運動において新聞が政府批判の急先鋒となったため、政府は1875年に新聞紙条例を制定して発行停止や記者の処罰を行い、言論を統制することで反政府運動の拡大を抑え込もうとしました。
問5	答え 1 遼東（リャオトン）半島	下関条約では、日本は清から遼東半島、台湾、澎湖諸島を譲り受けることが決まりましたが、アジアへの進出（南下政策）を計画していたロシアが、日本の大陸進出を警戒してドイツ、フランスと共に干渉を行いました。当時の日本は強国である3国に対抗する力がなかったため、この要求を受け入れて遼東半島を清に返還しました。これを三国干渉と呼びます。
問6	答え 1 富岡製糸場	明治政府は外貨を獲得するため、当時最大の輸出商品であった生糸の増産と品質向上を急ぎました。そのため、フランスから技術者や機械を導入し、模範となる工場を群馬県に建設しました。ここで技術を学んだ工女たちが全国の製糸工場に戻り、近代的な技術を広める役割を果たしました。
問7	答え 1 マルクス	産業革命後のイギリスなどで見られた、労働者の低賃金や劣悪な労働環境といった資本主義の矛盾を解決しようとしたのが社会主義思想です。マルクスは、資本家が独占していた「生産手段（土地・工場など）」を社会の共有財産に変えることで、平等な社会を築けると考え、後の世界の政治や経済に多大な影響を与えました。